

■今月の上映作品紹介

<現在決定分のみ>

100匹目のサル (ver2.6)

監督◆伊達高基 出演◆Robert Scerens 他  
1999年/東京/DV→VHS/39分

9月作品

ロブとネリは、とある異端で奇妙な落書きを見つける。頭の上から眼を傷む風変わりなポーズ、冗談でそれをまねたネリに突然何かが憑依した。「生命と文明の本質は何だかわかるか？」姿を消した彼女を探すロブは、次第に憑依した人物に惹かれてゆく。角川オフィシアターコンペティション1999グランプリ等、様々な映画祭で話題騒然の注目作品が、監督による新編集で新たに再公開！この上映会のために監督自ら改訂！先月からさらに進化したVerでお届けします！



YUKINO

監督◆もりのあるじ 音楽◆music Laboratory cube  
2002年/東京/FLASH→VHS/5分

9月作品

星の終わりの日が近づく。星を守るため、大星獣は戦う。自分たちの世界を守るため人は戦う。ウェブ制作ソフト『Flash』を作品制作のキャンバスとし、独特のやわらかな世界観と高度な技術を併用した作品を次々と生み出し注目を浴びている新進気鋭のフラッシュアニメーターの最新作。Web上で人気集中！ 本作品も <http://www.rzconsent.com/> にて公開中！



ほしのこえ

監督◆新海誠 音楽◆天門 声◆武藤寿美 他  
2002年/東京/HD→DVD/25分

9月作品

「私達は、たぶん、宇宙と地上にひきさられる恐人の、最初の世代だ・・・」  
同じ剣道部で仲の良いミカコとノボル。ミカコは国連の選抜メンバーに選ばれ、宇宙へ旅立つ。2人はメールで連絡を取るが、船が地球を離れるにつれメールの往復時間は開いていく。やがて宇宙船のワープにより二人の時間のズレは決定的なものになる・・・。個人で、一台のMacで製作され、大塚英志が「たった1人の革命！」とエールを送る、今期最大の話題映像作品！



さて、次回上映会は？

現在作品選定中です。  
毎回、前回の作品との組み合わせと、今気になる作品とのバランスで選定していますが、良いバランスにするのが一苦労です。

・次回の上映会の仮テーマは

【仙台ファンタスティック映画会】

と言うことで、一風変わった味わいの作品や、幻の名作といった作品を集めたいと思っております。ちなみに、今回はひさびさにシークレット上映もあり!!  
80年代にインディーズ映像の洗礼を受けた方には懐かしい映像を準備中です。

SEACRET

・当日上映させていただける在仙の映像作家の作品も募集中です。

大反響！  
「ほしのこえ」

・先月上映させて頂いた「ほしのこえ」が、各所で大反響です。  
この2月に短編専門映画館トリウッドで劇場公開されてから、大反響を巻き起こしてきたデジタルアニメですが、作品の完成度もさることながら、「たった1人の手で、Mac1台で」ここまでの作品が出来たと言う事実が大きいのではないのでしょうか。  
話題が広がって、現在、大塚英志、宮野由悠季、東浩紀、斎藤環、大地丙太郎、前田真宏、藤島康介・・・しまいに、東京都知事・石原慎太郎までが（・・・！）絶賛と激励のコメントを発表。大変な騒ぎでした。  
もっとも、先日一般の書店でも、廉価版のDVDブックが発売され、先月のように上映会に立ち見のお客さまが出る程ではなくなるでしょうが、アフレコなどバージョン違いを上映いたしますので、既に手に入れて御覧になっていらっしゃる方も、安心して(?)御来場下さい。詳しいデータなどは、当日会場などで配布いたしますが、まずは下記HPへ！

<http://www2.odn.ne.jp/~ccs50140//index.html>

発行/リアスフィルム

TEL/FAX / 022-276-2110  
e-mail: cdk51350@par.odn.ne.jp  
責任編集 きしなみきよみ

NEW GARAGE MOVIE FOR THIS CITY →

インディーズムービー  
INDIE'S MOVIE from RIASFILM

10 2002 Oct

自分で映画を作ってみたい！  
いろんな映画を観てみたい！  
自主制作映画の情報紙



「インディーズムービー・ステーション」って何？

欧米諸国の映画館では、本編上映前にインディペンデント（自主制作）映画を上映する事があります。これは上映時間が短いため「劇場映画」にできないものや、発表の場がない作家に機会を与えるためのものですが、単に映画を観るだけでなく、よりよい映画を観るために人材を育てていこうという意識があるからだと思います。しかし、日本ではそれら自主制作映画をほとんど観る機会がありません。ですが映画は次々と作られています。この上映会は劇場では観られない、明日の日本映画を担う作品を紹介して行く場です。

リアスフィルム

▼上映会場案内



地下鉄・旭ヶ岡駅下車1分

11月24日(日)

入場無料  
21時35分(入)

青年文化センター  
3F AVルーム

022-(276)-2110

・小さな会場ですので、事前にtel/mailで御確認下さい。

現在作品選定中です。

・在仙の映像作家の作品も募集中です。